

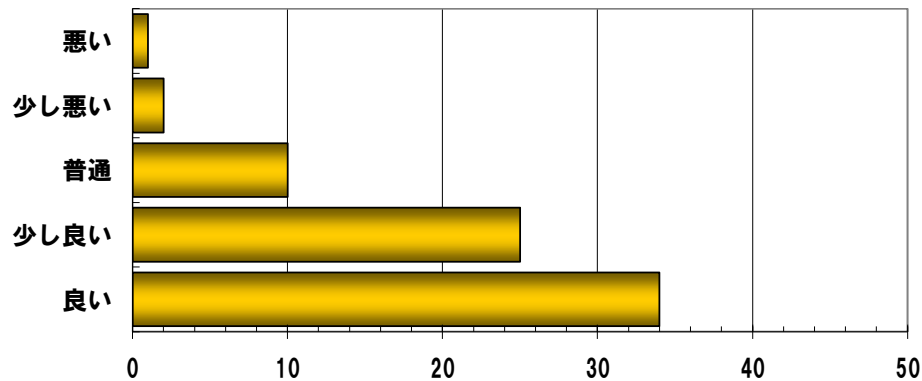
日時：2010年10月14日(木) 10:00~17:00

場所：建築会館ホール

参加者数(2010)：会員79名、登録メンバー0名、会員外63名、学生37名、計179名

参加者数(2009)：会員140名、登録メンバー2名、会員外55名、学生27名、計224名

1. シンポジウムの印象は？(回答数72)

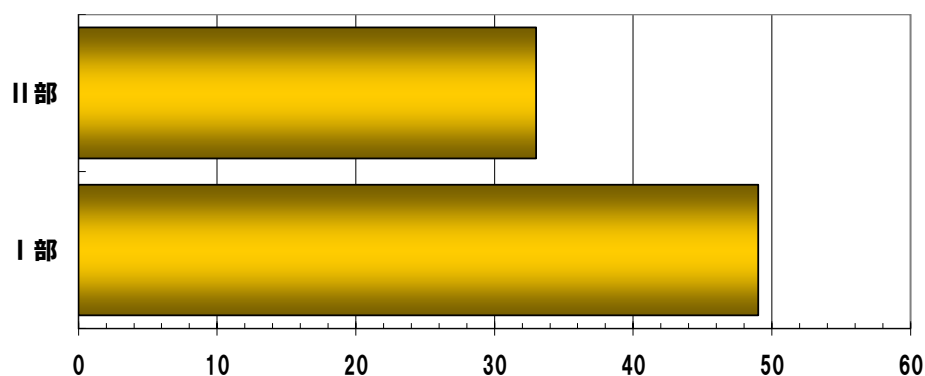


■コメント

- ・ 省エネに寄与するシステム・方法を学ぶことができた。
- ・ 各講演の時間をもう少し長くしても良いのではないのでしょうか。
- ・ 技術紹介にとどまり、今後の環境建築のあり方についての議論が少なかったように思える。
- ・ 午前・午後で講演6本は多すぎて、1講演があわただしく聞いていて疲れる。講演時の照明が暗すぎる。
- ・ 他分野にわたる講演、実際の事例についての講演を聴けたので勉強になった。
- ・ 内容のあるテーマをもっと長く聞きたかった。
- ・ 1テーマの時間をもう少し増やして欲しい。+10分ぐらい。
- ・ 現在の建築設備を扱った第1部から、将来の建築設備に着目した第2部へと流れを汲んだ構成で大変興味深かった。
- ・ 資料が小さすぎ。文字が判別できないものもある。カラーでなければ判別できないのに、白黒で印刷されていて、大変配慮に欠けている。件数が多すぎ。1件あたりの時間が短すぎる。意匠設計者にもわかりやすい説明となるよう配慮してほしい。
- ・ 時間がしっかりと割り振られており、メリハリがありよかった。
- ・ 時間が短く内容が少し物足りなかった。1項目30分程度は必要か。
- ・ 代表的な建物に使われている技術やこれからの技術について知ることができよかった。
- ・ 配布資料はカラー印刷にしていきたい。
- ・ 講師をしてみてやや時間が苦しかった。短かったように思う。
- ・ それぞれが短時間過ぎて、中身が同じ平滑な印象がある。
- ・ 多数の物件のダイジェストを知るにはよいが、物件を絞ってより詳しく紹介するほうが質問をしやすい。
- ・ 環境設備技術について設計者からの意見が聞けたので良かった。
- ・ 第1部だけで1日かかる内容であった。発表時間をもう少し長くしてはどうか。
- ・ 多くのプロジェクトの実施例の説明は役に立つ。
- ・ 各セクションでももう少し時間があれば、より具体的な話が聞けたのでは。
- ・ 最先端に接する機会がありよかった。

- ・ わかりやすい。内容が濃い。
- ・ 活発な意見交換がありとても刺激になりました。
- ・ 大変興味深いテーマでした。
- ・ 当方、設備技術者ではありませんが、環境建築の勉強になりました。
- ・ 時間通りスムーズに進んだことがよかった。それぞれのテーマにいろいろな発表のカラーがあって楽しく聴いていられた。
- ・ 現在の建築設備の最前線だけでなく、将来の展望を交えた議論を聞かせていただくことができ、大変興味深いシンポジウムとなりました。
- ・ 事例紹介は内容が多い割に時間が短かった。
- ・ 環境技術の進歩に面白さを感じた

2. 興味深かったセッションは？（複数回答）



■コメント

- ・ 第2部のテーマの中には環境建築という視座からかけ離れたものも見受けられる。より環境建築との関係性を明らかにする説明があればよかったと思う。
- ・ これまで4回連続が参加しており、毎回様々な視点からの意見がのべられ興味深い。
- ・ 次世代排水システム-従来システムの限界と次世代システムの展望。これからの設計用気象データと最大熱負荷計算法-今年の気象を含む考察。
- ・ 清水建設新本社の二酸化炭素50%削減の方法が勉強になった。
- ・ 清水建設新本社のタスクアンビエント空調システム。次世代排水システム。
- ・ 総合討論
- ・ II部4,6、II部総合討論
- ・ 事例1~3
- ・ 新しい環境負荷低減技術とその有効性、実用性とのジレンマ、設計の現場での難しさやまた、設計者の方々がどうそれを乗り越えようとしているのか、非常に興味深い話だった。
- ・ 拡張アメダス、気象データの測定方法について。
- ・ それぞれの視点で興味深かった。
- ・ 特に坂上先生のご講演が興味深かった。
- ・ 日産先進技術開発センター。次世代排水システム。
- ・ 将来の気象変化を考慮した設備を考える必要があるというのは興味深い。
- ・ 清水建設新本社。タスクアンビエント空調。
- ・ 鹿島技術研究所の事例、地中熱の利用が面白い。
- ・ 事例-1、事例4
- ・ いずれも
- ・ 1部の3)、総合討論が興味深かった。

- ・ 実例をふまえていてとてもわかりやすかった。
- ・ 第 1 部では立場（設計者、使用者、ゼネコン）の違う人たちのそれぞれの考えがあり興味深かった。
- ・ 第 1 部についてはいずれも以前に聞いたことがある案件であった。
- ・ 先端の省エネ環境建築を横並びで再確認でき、よい機会になった。
- ・ 総合討論。各設計者の省エネ手法採用への考え方。
- ・ 新丸の内ビルのペリゾーンへのアプローチ。
- ・ 清水建設新本社のタスクアンビエント空調システムのスライドはわかりやすくよかった。
- ・ 第 2 部はセッションを区切ってはどうか？特に 2) 3) 4) は分けていいと思う。
- ・ 両方とも良かった。
- ・ 通常の学会論文で読み取ることのできない貴重なデータ、資料のため興味深い
- ・ 1,エプラインイノベーションセンター大成札幌ビル 2、清水本社、これからの設計用気象データ
- ・ 次世代排水システム
- ・ 清水建設新本社屋の放射空調システムは、活気的なシステムと思う。
- ・ 1部パナソニック本社丸紅ビル 2部次世代排水システム
- ・ 討論
- ・ 今後の環境建築のあり方について考える部分が多かった。参考になりました。
- ・ 環境技術がどのように適用され、運用されているか（問題点も含めて）聞いたので大変興味深かった。
- ・ 第 1 部の光ダクト・シースルー機械室・屋根散水のゆらぎ演出 第 2 部・放射空調システム
- ・ 建物の例ということで興味を持つことができた。第 2 部では興味のあるものはとてもあったが、あるものとなないものがあった。
- ・ どちらも興味深い発表が多かったのですが、特に第 2 部の総合討論では、気持ちが熱くなるようなお話しを聞くことができました。
- ・ 坂上先生のユーザーにレベルを選ばせるのは同感

3. 来年以降のシンポジウムで希望するテーマは？

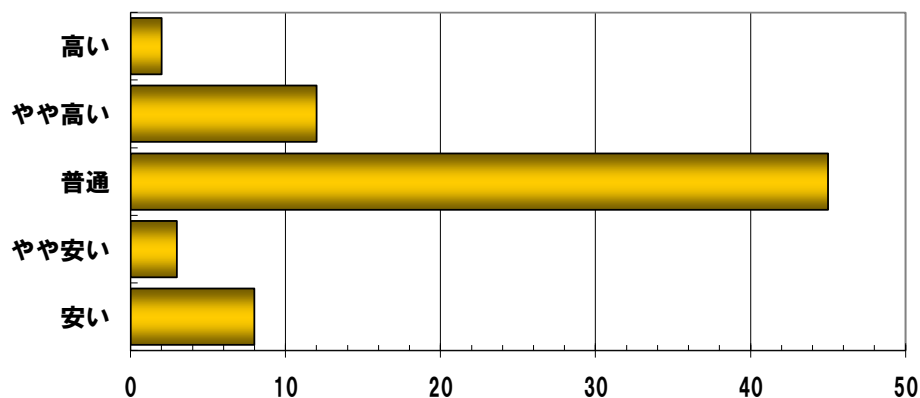
- ・ 公共建築物（学校・病院・庁舎など）における省エネ対策の現状と展望など
- ・ 空調での省エネ内容（輻射・パーソナル空調方法）
- ・ 既存ビルの設備改修工事のトレンド。高齢化社会に向けた設備技術。
- ・ 環境建築。ZEBのベンチマーク設定の仕方。
- ・ オフィス以外の業務施設（商業ビル、大学キャンパスなど）、あるいは住宅建築への環境技術の展開。
- ・ 現状を把握するためのデータ・調査方法。効果の検証のための手法など。
- ・ リニューアル等についてもテーマとしてほしい。
- ・ ZEBとして省エネ
- ・ 環境建築（建設設備）が都市環境に与える影響について。
- ・ エネルギー消費。空調に関する数値予測。
- ・ ユーザーのニーズと設計思想への反映。施工者から見た現場でのゼロエミッション（施工しやすい設備など）
- ・ 病院・工場等の設計技術について。
- ・ 換気用建築の事例
- ・ 設備設計思考と運用方法との相違に着目した
- ・ 設備設計と不動産価値の話、プロダクティビティの話が聞きたい
- ・ 知的生産性に踏み込んだ内容までをテーマとしたものを希望します。

- ・ B I M, Z E B, シミュレーションツールの評価、海外動向
- ・ 多種多様ではあるがリニュアル事例があれば参考にしたいのでとりわけてもらいたい
- ・ バイオクライマティックデザインと設備設計の関係。
- ・ 最新技術の紹介。世界と日本の違いについて。
- ・ 大林組技術研究所の紹介
- ・ 第 1 部の事例 6 でもありましたが、企業の運営側から見る建築設備をテーマに用途別に発表して欲しい今年はオフィス中心であったがほかの用途についても行って欲しい(1 とはことナツツ視点で) 災害時の建築設備、対策
- ・ 省エネデータセンタ
- ・ 本年と同様に最新の事例等を中心に開催して欲しい
- ・ 今回と同様最先端設計事例及び効果検証結果など
- ・ 実施プロジェクトの紹介
- ・ 省エネ自慢的な話ではなく、実行をもっと促すような会になればよい。
- ・ 環境技術について
- ・ まだまだ技術革新が進むと思いますので、最先端パート 3 でおねがいします。
- ・ 運用によるビル建物の省エネ
- ・ 今日のシンポジウムで、環境建築を作ったけれど「実は、、、」という話があった。その後の対策などについてはどうなっているのか?
- ・ 午後の総合討論でご発言ありました、建築設備性能値と評価法について
- ・ 拡張アメダス気象関係のテーマ
- ・ 現在だけでなく、将来の展望を交えた発表も聞いてみたいです。
- ・ Z E B
- ・ C O 2 削減に特化したテーマ、特に冷房技術の C O 2 削減手法をご提示してほしい。

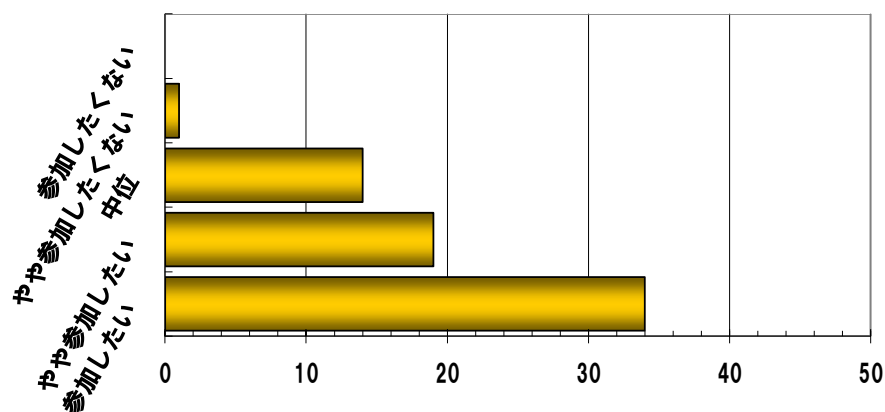
4. 来年以降のシンポジウムで希望する講師名、講演内容は?

- ・ 日本設計 佐々木氏。その後の日産先進技術開発センター。
- ・ 佐々木 真人様 、平岡 雅哉様
- ・ 第三回サステナブル建築賞の内容から。ZEB の取り組み。
- ・ スカイツリーの話が聞きたい
- ・ 同上実務面での講演会をお願いします。
- ・ 坂上恭助先生や日本設計の佐々木さんの講演には特に興味をひかれました。
- ・ 坂上先生、野辺先生、面白い作品を残した設計者

5. シンポジウムの参加費は妥当でしたか? (回答数 70 人)

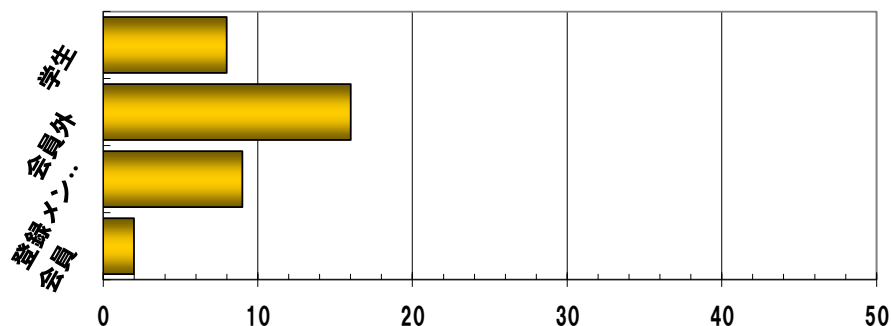


6. 来年以降も参加したいですか？（回答数 68 人）

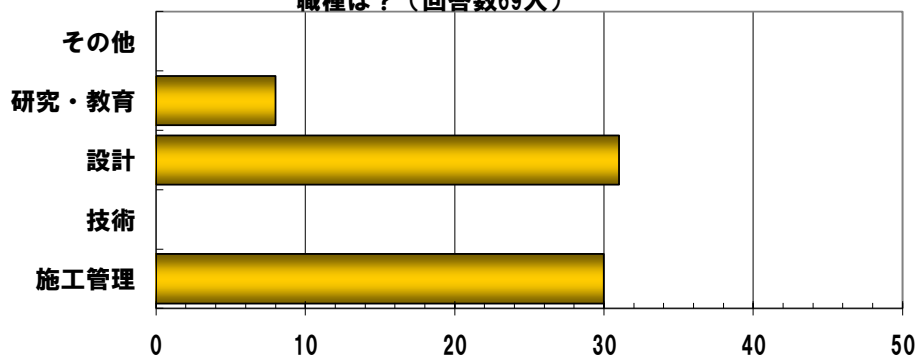


7. 会員種別、職種

会員種別は？（回答数35人）



職種は？（回答数69人）



8. 自由記入欄

- ・ 総合統論は難しい。各人、それぞれやっていることが違うので「総合統論」は難しい。
- ・ 第Ⅱ部の総合討論は「環境」というテーマから離れてしまったのではという疑問を持ちました。
- ・ サステナブルを実現するために、ユーザーと協調していかにサービスレベルを下げるかという話は興味深かった。
- ・ 内容が幅広く、多岐に渡っていて興味深かった。(反面、内容の深さなどにばらつきがあると感じた)
- ・ 設計時に想定した運用方法をどうやってユーザーに続けていってもらおうかという問題の重要性と難しい現状が非常に印象的なシンポジウムだった。

- ・ 省エネ、低炭素などの個別要素技術(EX,窓周り照明)を取り上げ、集中した紹介と討議がほしい。
- ・ 内容が多いが発表時間が短く、皆さん早足の説明であった。一人一人の発表時間をもう少し長くしてはいかがでしょうか？
- ・ 全体的に時間が短いので発表時間を多少延ばしたほうがよいのでは
- ・ 発表の時間が短い、後 5～10 分あればいいと思う。
- ・ 手元資料が細かく見えない。読める程度にして欲しい。また前面の画面も細かいところが見えない。残念
- ・ 各発表の時間が短く、基本的な部分を理解しにくい。パワーポイントの映像をうつしている時間が短いため、資料で確認しようとするが、モノクロコピーであり、特に図や表の内訳等読み取れない。改善の検討をお願いしたい。
- ・ 時間制限されているために説明内容が表面的に勧められている点が少し時間に余裕が必要ないか
- ・ 資料の文字、図表が過ぎて、読めないものが多い。後日参考にするために、資料作成費が多少、参加費に上乗せになったとしても、見やすい（少なくとも判断できる）物として欲しい。
- ・ 事例紹介と数多く聞けるのは良いが、15分/件はみじかすぎる。もう少し詳細に説明していただきたい。
- ・ 他の講習でもよくありますが、パワーポイントのテキストの印刷は1ページもしくは2ページ印刷としてほしい。あとで読み返すにも小さすぎる。
- ・ 最近エコカーブームであるが、エコカーも乱暴な運転をすればエコではなくなるし、また高性能なものは維持費が高い（例えば高価なバッテリーへの定期的な交換が必要）事が意外と売る際にオーナーに伝えられていないと思います。建築も高性能になればなるほど、インシヤルでもコストがかかり、操作が難しいことを痛感した。
- ・ 詳しいご報告、丁寧な資料ありがとうございます。
- ・ 大変貴重なご講演ありがとうございました。

以上